

日頃、仕事に追われているときには、退職したら、出来なかつたこと、諦めていたことができる…と思つていましたが、実際にそうした日が近づいてくると、自分が何ができるだろう、そもそも何か出来るのだろうか…と不安がよぎつてきています。

そうした時にインターネット上で、「次の夢に向かつている。けれど、倍率は高く…」という記事がありました。その方は何とか、人のためになる仕事をしたいと思つているそうです。希望している仕事は、確かに人助けの仕事ですが、競争率も高いのです。励ます意見などが色々ありましたが、私は「そもそも仕事で人助けにならない仕事があるだろうか？ 犯罪などは別として」という趣旨のコメントを見て考えさせられました。

例えば、災害や事故などの際に人を救助するのは人助けの仕事ですが、そうした人助けをする人々の食事を作る仕事、販売する仕事、救助活動を支える車を作る仕事、道を作る仕事…と考えていけば、おそらくほとんどの仕事がその仕事をしている本人が意識しているかどうかは別として、人を助け、

「人のためになること」

支えているのだと思います。つまり、「人のためになる」仕事があるのではなく、色々な仕事によって現代生活が実現しているのです。私も何か人のために恩返しをしたいと思えます。けれど、「人のためになる」ということは仕事に限りません。色々なことを通じ人は助けたり、助けられたりするのだと思います。

退職後、どうするのか、答えが見つかったわけではありませんが、自分がやってきたこと、やり残していること、した方がよいこと、やりたいことを考えながら、肩ひじ張らずに少しずつ歩いていこうと思えます。

このシリーズは、あなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願ひ、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

問い合わせ

人権啓発広報委員会

880・6569